

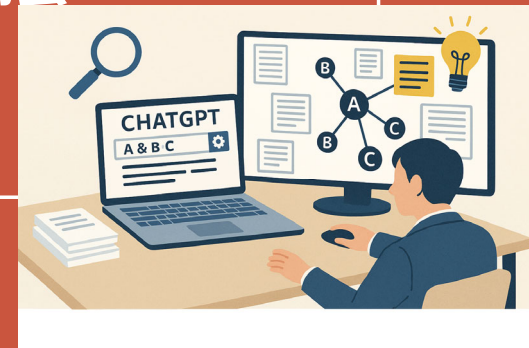
知的財産支援フォーラム2025 in 長野

ChatGPTで広がる発明創出の世界 ～AIとともに考えるアイデア発想と特許化の実践～

2025年7月25日（金）14:00～16:50

会場：ホテルメトロポリタン長野「浅間」

主催：日本弁理士会東海会・長野県・長野県発明協会



【開演前 試験】

弁理士のあなたに問う

「この構造、説明できますか？」

◎ 分野を選んで、5分以内に400字程度で説明せよ ◎

☐ 化学系（ボールペン）

☐ 電気系（ヘアドライヤー）

☐ 機械系（ガス圧式OAチェア）

▶ 回答フォームはこちら：

<https://forms.gle/rSb15kUENVdKBrFA7>



※ 企業参加者の方は回答不要です

※ 開演後、ChatGPTの回答と比較します



Takayama Patent and Trademark Office

たかやま特許商標事務所

【企業向け 開演前 アンケート】

本アンケートは、企業の知財担当者・開発担当者の皆さまを対象に、

生成AIの導入意向と、弁理士との今後の関係性についてお伺いするものです。

所要時間は1分程度です。ご協力よろしくお願いいたします。

▶ 回答フォームはこちら：

<https://forms.gle/HUn63Tz2ZvVShXKX7>



※ 企業内弁理士の方は回答してください。

第1部 ChatGPTを活用した発明創出と アイデアブレストの基礎と実践

2025年7月25日（金）14:10～15:35

講師：高山嘉成（たかやま特許商標事務所 代表弁理士）

<https://takayama-patent.com/>



§ 1 講師自己紹介

■ 講師自己紹介

高山 嘉成 (たかやま よしなり)

たかやま特許商標事務所 所長／弁理士

【略歴】山形大学理学部数学科卒

2004年 弁理士登録（知財業務歴20年以上）

2005年 たかやま特許商標事務所開業 現在、顧問・コンサル企業20社以上

2021年 白馬村に本店移転（完全テレワーク対応）

【趣味】：ギター弾き語り

【業務実績】

期間 2005（平成17）年11月～2025（令和7）年6月

実績数 ◎特許・実用新案の権利化業務： **400** 件
◎意匠の権利化業務： **259** 件
◎商標の権利化業務： **644** 件
◎特許・実用新案・意匠の無効審判関連業務： **31** 件
◎商標の異議申立・審判関連業務： **29** 件
◎特許・意匠・商標の訴訟関連業務（補佐人・補助業務）： **23** 件

【ChatGPTセミナー 続々登壇中！】

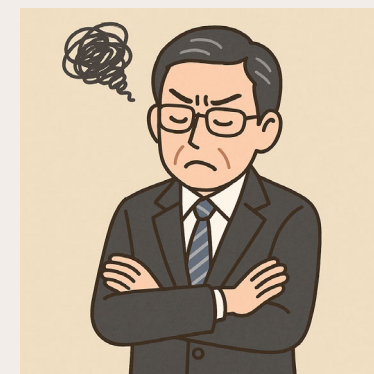
- ・ 2024年7月 長野県主催 知財フォーラム2024
- ・ 2024年11月 長野県発明協会主催 知財DX
- ・ 2025年5月 発明通信社主催 ChatGPT×調査
- ・ 2025年6月 日本弁理士会 知財業務再構築
- ・ 2025年7月 （株）技術情報協会 5時間生配信
- ・ 2025年7月 福山商工会議所セミナー リアル開催
- ・ これまで、のべ約675名に伝えてきました。

専門家が、語らなくなった時代に

日本社会の課題は、決して単純ではない。

だからこそ、それぞれの専門家には、
正確に、分かりやすく語る責任があるはず。

けれど、経済学者も、財政学者も、法律家も——
分かりやすく語ろうとせず、沈黙している。
間違ったことをしゃべることが許されない時代だからか・・・



そして、専門家でない専門家が、専門分野を、そして間違ったことを平気語る時代。

では、AI時代のいま。

日本社会が抱える知財に関する課題は何なのか。

そして、弁理士は、それに対して、この1年何を語ったのか.....

私は、語ってきました。

1年前、間違いを恐れず、この場所を皮切りに、
私は**全国約675名以上**の方々に、生成AIとの向き合い方を語ってきました。

毎回、異なる題材。異なるテーマ。異なる伝え方。

私自身が実践し、悩み、迷いながらも、
どうすれば伝わるかを、考え抜いてきたつもりです。

そして今日——

日本の企業が抱える“知財に関する課題”を入口に、
発明ブレストにおけるChatGPTの活用についてお話しします。

今日のテーマは「**アイデア創出**」に絞っていますが、
私の中では、**知財業務全体をつなぐ“一気通貫の活用法”**が
* すでに、はっきりと見えています。



■ フォーラムとは？

一方的な“講演”ではなく、
参加者とともに考える“対話の場”です。



この場は、以下のような意図で設計されています：

- 💬 **「企業側のリアルな声」**を聞くこと
- 🧠 **「現場での実感」**を共有すること
- 🤝 **「AIとの関わり方」**を一緒に探ること

✅ 今日、この場でしか生まれない
“問い”や“気づき”が、発明の種になります。

「この講演は、皆さんの声で作る“対話型”フォーラムです。お手元のスマホで、都度提示するQRコードからフォームにアクセスし、あなたの率直な感想や意見を入力してください。」

参加者の構成（2025年7月24日時点）

申込状況

定員：企業・一般50名／弁理士30名

▶ 企業・一般：62名

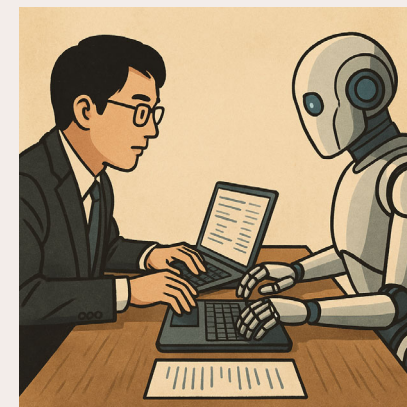
▶ 弁理士：30名超

90～100名程度の開催規模

知的財産長野フォーラム 過去最高?!

—— 企業の皆さんは、変化を求めて
ここにいます。

—— 弁理士の皆さんは、この現実を
どう受け止めますか？



§ 2 ChatGPTを扱う上での 超基礎的理解とリスク管理

ChatGPTの活用に関する認識と導入状況アンケート

このフォームでは、
ChatGPTのリスク対
策や導入状況に関し
て、皆様の認識や対
応状況をお伺いしま
す。

<https://forms.gle/bjToeCUSsadW1WSK7>



■ 仕組み理解のための典型例

1. ChatGPT内部では、
文脈「私は今日、朝
パンを」までを受けて、
次に来る語の確率分
布を計算

高確率：

「食べた」(0.83)

「焼いた」(0.09)

「買った」(0.03)

低確率：

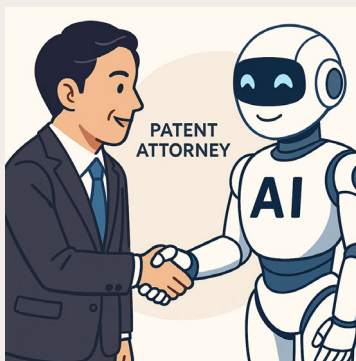
「電車」(0.001)

「本」(0.0004)

✦ この“次に来る言葉の確率”を元に、ChatGPTはリアルタイムに文章を組み立てています！

■ なぜ会話が効果的か？

- ChatGPTは**文脈（これまでの会話）**を常に加味しながら出力している
- だから、指示を一発で出すより、**会話を重ねて文脈を育てたほうが自然な応答が得られる**
- 会話型プロンプトこそ、ChatGPTの仕組みに合った使い方！



■ ハルシネーション（AIが、もっともらしいけれど実際には間違った情報を生成すること）の例

 実際によくあるケース：

- 「〇〇法第123条とは？」→ 実在しない条文を生成
- 「△△特許に関する先行技術を挙げて」→ 架空の文献が登場
- 「〇〇の技術の国際特許分類（IPC）を挙げて」
→ 精度はよくなってきた気もするが、実際のIPCとは、微妙に違う

■ オプトアウト設定の重要性

- ChatGPTには「学習への利用可否（オプトアウト）」設定が存在する（※Web版）
- 設定を「オン」にしていると、入力内容が今後のモデル訓練に使われる可能性がある
- 企業・実務では、「学習利用を拒否する（オプトアウト）」を必須とすべき

📌 Web版：「設定」→「データコントロール」→「すべての人のためにモデルを改善する」→ オフにする

📌 API版はもともと学習には利用されない設計（より安全）



2025/04/29時点設定画面

■【注意】親指ボタン（👍 👎）の意味とデータ利用の関係

- ・ 親指ボタンは「その応答が役に立ったかどうか」をChatGPTに伝えるUIです。
- ・ オプトアウトしている場合でもオプトアウトしていない場合でも：
→ 👍 👎 のフィードバックが、OpenAIのモデル改良に使用される可能性があります。

機能	説明
① 即時の文脈フィードバック	現在の会話内で「参考になったかどうか」の評価として活用され、応答の安定性改善に使われる（表示調整など）
② モデル改善用のデータ収集	ユーザからの評価結果は、OpenAIがモデル改良の参考データとして将来的に使用することがある

📌 安心して使うには、オプトアウト設定＋履歴管理＋👍 👎 を押さないが前提です。

1.6 新規性保持の観点から見た安全な使い方

■ 特許法上の新規性喪失の要件（第29条第1項第3号）

「インターネットその他の電気通信回線を通じて、公衆に利用可能となった発明」は、原則として特許を受けられません。

■ ChatGPT入力は「公衆に利用可能」か？

ChatGPTはクラウドサービスであり、インターネット経由で入力情報が送信されます。

しかし、右の条件を満たしていれば、「公衆に利用可能」とは通常評価されません：

→ 履歴を共有せず + 学習オフ（オプトアウト設定）にしていれば、

29条1項3号には通常該当しないと考えられます。

■ 安全な使い方（実務指針）

1. 「すべての人のためにモデルを改善する」設定をオフにする（オプトアウト設定）
2. 履歴も定期的に削除すること（バグ・誤共有・アカウント漏洩に伴う情報漏洩の防止）
3. **ただし、WEB版では、どうしても、履歴がOpenAI社のサーバに残るので、より安全を期するのであれば、API版を利用するとよく、最近はそのサービスが入手しやすくなっている。**

条件	状態
入力内容が検索・閲覧可能	✗（第三者には不可）
自動で一般公開されるか	✗（非公開）
再学習される可能性があるか	⚠ オプトアウトしていないと あり得るので、オプトアウト設定は必須
ユーザー以外に閲覧可能か	⚠ 共有した履歴は閲覧可能。 秘密情報は共有しない。



ChatGPT活用の4段階レベル

- ChatGPTの使い方には「成長ステップ」がある
 - ChatGPTは誰でもすぐに使い始められますが、
「使い方次第」で、得られる成果がまったく変わります。
- 活用レベルは4段階に整理できます

レベル	説明
初級	とりあえず聞いてみる（調べ物・要約など）
中級	プロンプトを工夫して、より良い出力を引き出す
上級	ChatGPTとの対話を通じて、視点を整理・深掘りする
超上級	ChatGPTを共創パートナーとして捉え、創造的業務に活かす

「どのレベルが正解ということはありません。」

大切なのは、自分の業務に合った段階から始めて、少しずつ上達していくことです。」

§ 3 企業の抱える課題

企業が現在抱えている知財に関する課題を教えてください

該当するものをすべて選んでください。
（その他にご自由に追加していただいても構いません）

<https://forms.gle/kvV2omoz7yZtM3Bj8>



導入アンケート速報

- (1) 弁理士参加者への腕試し試験 (2P)**
- (2) 企業・一般参加者・企業内弁理士へのアンケート (3P)**
- (3) 全員へ : ChatGPTの活用に関する認識と導入状況アンケート (11P)**
- (4) 企業の方へ : 企業が現在抱えている知財に関する課題を教えてください (21P)**

1. 現場の“あるある”

1-1. 発明提案が出てこないのは、なぜ？

- 若手が「何を出せばいいかわからない」
- 「自分なんかが言っているのか」という萎縮
- 上司が否定的だと空気が止まる
- 出願予算や社内評価の圧が、逆に発明を止めている

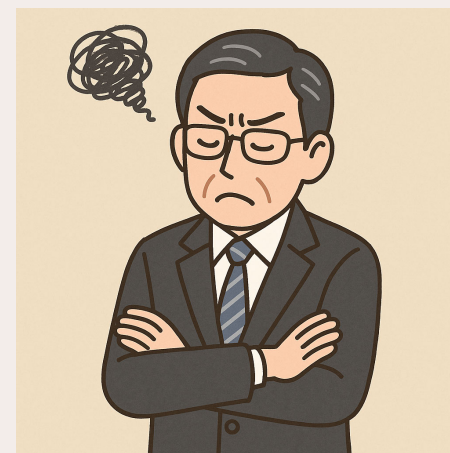
1-2. 発明会議、こんな雰囲気ありませんか？

- 毎月開催だけど、出ないと逆に安心している
- 「出さなきゃ」が義務になると、アイデアが枯れる
- ホワイトボードにメモして終わる
- 発明の芽を形にできない

■【2. ブレストって、そもそも何？】

2-1. 人間のブレストは、空気と相性で決まる

- 誰が発言するか、が結果を左右
- 記録されない、再構成されない、使われない
- 出てきた案が「どう判断されたか」すら共有されない



3. ChatGPTとのブレストはどう違う？

3-1. インタラクティブに“問い返してくれる”

- 最新のGPTは、「ブレストしたい」というだけで、入力すべき項目を聞いてくれる
- 上司も空気も気にせず、まず出せる

3-2. アイデアがすぐに「視覚化」「構造化」される

- 思考の整理に向いている
- 出た案を採用してもいい、スルーしてもいい
- 整理されるから、人間が“考えやすくなる”

■ 4. なぜ、AIとのブレストが効くのか

- 発想が広がる→判断材料が増える
- 選択肢が増える→ひらめきが生まれる
- 整理される→判断しやすくなる
- 深掘りもできる
 - 分からない箇所やもっと知りたい箇所あれば、喜んで回答
 - AIに自問自答させてリスクや実現可能性を探る
 - **思考と判断の役割分担**が明確に



5. AIとのブレストは、発明創出の“下地”を整える

- 発明を一人で考えなくていい
- 会議の前に、ChatGPTと“予習ブレスト”することで、
会議の生産性が格段に上がる
- 知財部が“聞く側”から“提案側”“広げる側”へ変わるチャンス

§ 4 ChatGPTとのアイデアブレスト の理論

📄 1: ChatGPTとのブレストは「一言」からスタートできる

ポイント：

- ・難しいプロンプトはいらない
- ・「～のアイデアを考えたい」だけで開始可能

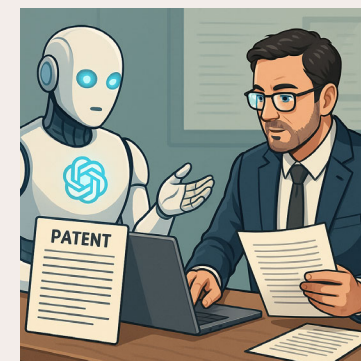
これまでのChatGPT（旧バージョン）

- ・詳細なプロンプト（指示文）が必要
- ・的確な指示がないと良い回答が得られない



最新のChatGPT（GPT-4o以降：無料版、Plus版、Pro版の違い）

- ・「新しいボールペンのアイデアを考えたい」
と一言書くだけで、自然にブレストが開始可能
- ・AIが自動的に質問を投げかけ、アイデアを引き出す
- ・こちらは「何も考えていなくても」始められる



📄 2:ChatGPTの対話的ブレストの流れ（理論モデル）

ポイント：

- ・対話型のアイデア創出プロセスを具体的に示す
- ・「質問⇔回答」の反復で発想が広がる

ブレストの流れ：

- ・**Step① テーマを入力（曖昧でOK）**

例：「新しいOAチェアを考えたい」

- ・**Step② ChatGPTから質問が返る**

例：「誰が使うものですか？」「どんな課題を解決したいですか？」

- ・**Step③ 対話を続ける（自由）**

- ・質問に回答しても、しなくてもよい
- ・こちらから追加の条件を出してもよい

- ・**Step④ AIが整理して案を提示**

- ・アイデアが整理され、視覚化される
- ・さらに深掘りや代替案提示が可能



📄 3 :なぜChatGPTブレストが効くのか（理論的解説）

ポイント：

- AIブレストの理論的なメリットを明示する
- 人間の心理・思考プロセスとの親和性を示す
- 【理由①】AIの「問い返し」が重要
→ 質問されると、潜在的な課題や目的が意識化される
- 【理由②】AIが「発想の材料」を提示
→ 材料を見ることで、人間が新たなアイデアに気づく
- 【理由③】AIが「構造的に整理」する
→ 整理されると、迷わず判断しやすくなる
- 【理由④】ブレスト過程を「記録」できる
→ 再利用や、あとから振り返ることが可能になる

人間の脳内のリソースには限りがあります。脳内のリソースに余裕を持たせることで、新しい発想が出てくる！これが最も重要なことです。

4:ChatGPTと人間の役割分担（理論の要）

ポイント：

- AIと人間の役割分担を明確にする
- 人間が主体性を失わず、むしろ強化されることを示す

役割分担：

ChatGPTが担う役割	人間が担う役割
発想の拡張・拡散（多様な提案）	最終的な判断と選択（主体性）
提案の構造化・整理・視覚化	直感や経験を活かした評価
客観的・論理的な視点の提供	実現可能性や実務感覚の検討

- AIの提案は「そのまま採用しても」「スルーしても」どちらでもOK
- 判断・選択するのは人間だから、柔軟に活用できる

☰ 5:深掘りと自問自答まで可能な「AIとの対話ブレスト」

ポイント：

- AIに深掘り・分析させる方法を明確にする
- 自問自答でアイデアの弱点やリスクも洗い出せる

対話の例示：

- 「このアイデアを実現する上での課題は何？」
- 「この製品の市場性を詳しく分析して」
- 「逆に、このアイデアの問題点やリスクは？」
- **このように問いかけると、ChatGPTは：**
 - アイデアのメリット・デメリットを多面的に提示
 - 実現可能性や市場適合性を評価し、リスクを可視化
 - 客観的に深掘りしてくれるから、人間が冷静に判断できる

☰ ChatGPTで行き詰まったとき、「発想法」を聞いてみるという選択肢

🧠 アイデアが出ない・煮詰まったとき、
ChatGPTにこう聞いてみてください：
「発明のヒントが欲しいんですが、
どんな発想法で考えたらよいですか？」

ChatGPTは、目的や状況に応じて、
SCAMPER法・オズボーンのチェックリスト・TRIZ・強制連想など、
複数の発想法を提案してくれます。

💬 たとえば、こんなふうに使えます：



💬 ChatGPTへの質問	🧠 返ってくる方向性
「この製品、どう改良すればいい？」	SCAMPER法を使って提案が返る
「逆にこのアイデアを壊すには？」	オズボーンの“反転”視点などが出てくる
「技術的に矛盾してる気がする」	TRIZの40原則で突破口を提案

✅ 大切なのは「一人で詰まらないこと」ChatGPTは「外部脳」であり、アイデアの出し方そのものを助け
てもらうことも、立派な使い方です。

【まとめスライド（理論の全体像）】

AIブレストの理論的メリットは3つ：

- ① 対話型（自然に発想が広がる）
- ② 整理と視覚化（アイデアが判断しやすくなる）
- ③ 深掘りと自問自答（実現可能性やリスクが見える）

→ だから、ChatGPTとのブレストは、効果的である

ここで小休止

§ 5 ChatGPTブレスト理論の 実践デモ

ChatGPTとのブレストを体験しよう

- 今から、『ボールペン』『ヘッドライヤー』『OAチェア』の3つを題材にします。
- 事前に準備した入力画面で説明します。
- お手元で参照しやすいように、別紙で、入力デモ画面の用紙をお渡ししておりますので、スマートフォンでQRコードを読み込んでご確認ください。
- 各デモ終了後、会場の皆さんはGoogleフォームで感想や意見をお寄せください。

デモ① ボールペン

- 『ここから、ChatGPTを使った実際のブレストを体験しましょう』
- 『今回は次の3つの製品例を使います』
 - ①ボールペン
 - ②ドライヤー
 - ③OAチェア
- 『あなた自身も、各デモ後にGoogleフォームで意見や感想を入力してください。』

【デモ① ボールペン】

（スライド1）テーマ入力の例

- 入力文：「新しいボールペンのアイデアを考えたい」
- 対象・課題・機能など、具体的に決まっていなくてもスタートできます。



【ここでリアルタイムデモ実施（約3分）】

- 実際にChatGPTの画面を投影
- 「新しいボールペンのアイデアを考えたい」を入力
- ChatGPTがユーザーに問いかける様子を見せる（対象層は？ 機能面で希望は？等）

【デモ① ボールペン】

（スライド2） ChatGPTが提案したアイデア例（整理表示）

- 手が疲れにくいゲル素材グリップのボールペン
- 書いた内容をスマホアプリでデジタル保存できるボールペン
- インク残量を検知して通知するスマートペン



14:50~15:00 (10分) 5/7

【デモ① ボールペン】

ChatGPT



Gemini



14:50~15:00 (10分) 6/7

【デモ① ボールペン】 ChatGPT



【デモ① ボールペン】

（スライド3）会場の皆さんへ（Googleフォーム入力①）

質問例：

- 「今のデモで得られたアイデアを、どう思いましたか？」
- 「実際に、この方法でブレストをやってみたいと思いましたか？」

<https://forms.gle/ebHP7qRZcjQWsr2a7>



【デモ② ヘアドライヤー】

（スライド1）入力プロンプト（事前準備）

- 入力文：「新しいヘアドライヤーを考えたい」
- 条件：「ターゲットは20代女性向けで、髪に優しく使いやすいもの」



【デモ② ヘアドライヤー】

（スライド2） ChatGPTが提示したアイデア例（事前整理）

- AIによる温度・風量自動調整で、髪の毛のダメージを防ぐドライヤー
- マンションや集合住宅でも気兼ねなく使える超静音設計
- コードレス＆充電式で、外出先でも簡単に使える



【デモ② ヘアドライヤー】

(スライド3) 会場の皆さんへ (Googleフォーム入力②)

質問例：

- 「今見たアイデアの中で、自社製品開発に取り入れたいと思うものはありましたか？」
- 「AIブレストのアイデアを見て、人間だけのブレストと違いを感じましたか？」
(2分間で入力してもらう)

<https://forms.gle/wdHqpie1XjpNjbJV6>



【デモ③ OAチェア】

（スライド1）入力プロンプト（事前準備）

- 入力文：「長時間作業しても疲れにくい新しいOAチェアを考えたい」
- 条件：「オフィス、テレワークどちらでも使えること」

↓

(スライド2) ChatGPTが提示したアイデア例 (事前整理)

- 姿勢と体圧をAIが検知し、自動調整する快適チェア
- 疲労を検知して、適切なタイミングで休憩を促す通知機能付き
- 省スペースの折り畳み式で、自宅・オフィスの両方で使えるチェア



(スライド2) ChatGPTが提示したアイデア例 (事前整理)



(スライド3) 会場の皆さんへ (Googleフォーム入力③)

質問例：

- 「ChatGPTの提案を、実際の製品開発に活かせそうと感じましたか？」
- 「AIとのブレストで特に魅力を感じたポイント、あるいは懸念を感じたポイントは？」
(2分間で入力してもらう)

<https://forms.gle/rPZdVdcJFyY8z9my6>



【まとめスライド（デモ総括）】

AIとのブレストの本質とは？

- 今日の3つのデモを通じて、ChatGPTとのブレスト方法と可能性を体感いただきました。
- AIは『アイデアの拡張』『発想の整理』『対話による深掘り』を担い、人間の直感や経験を支えます。
- AIは『発想の起点』であり、『最終的な判断・選択・実現』はあくまで人間が担います。
- AIとの適切な役割分担で、知財業務における発明・アイデア創出を加速できます。

アンケート入力時間：回答速報発表

§ 6 発明提案書

【スライド 1 | ChatGPTから『発明提案書』へ】

なぜ『発明提案書』にするのか？

- ChatGPTとのブレストから出たアイデアは、提案書形式にまとめることで、**視覚化・構造化され、関係者の理解が深まる。**
- 視覚化されたアイデアは、社内コミュニケーションを円滑にし、**その後の調査・権利化プロセスを明確に進められる。**

【スライド2 | 『発明提案書』の具体的な記載項目】

- 発明のタイトル**

(例：「AIが温度調整するヘアドライヤー」)

- 課題と目的**

(例：「髪のダメージを防ぐため、温度を自動で制御する」)

- 発明のポイント（構成要素）**

(例：「AIセンサーによる温度・風量の自動調整」「コードレス充電式」)

- 想定する市場・ユーザー層**

(例：「20代女性向け／都市部の集合住宅など」)

- 予想される効果**

(例：「髪へのダメージ軽減、騒音問題の解消、携帯性向上」)

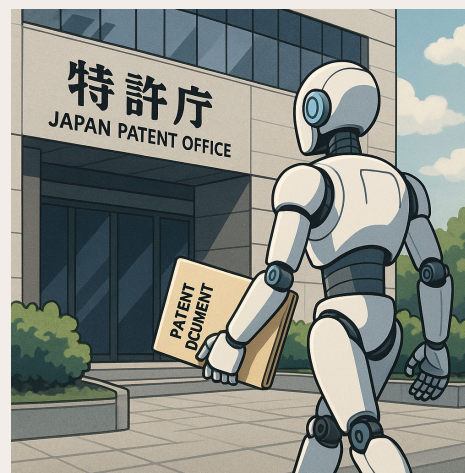
- 実施例・構成図など（イメージ図・簡易フロー図）**

【スライド3 | 発明提案書にすることのメリット】

- アイデアが『見える化』され、社内の理解・評価が迅速になる
- 社内会議や上層部への説得力が高まる
- 提案書の形になっているため、調査や明細書作成の起点になる

↓ 次の業務にすぐにつながる

- 先行技術調査
- 明細書作成
- クレーム作成
- 出願戦略策定



▶【スライド4 | ChatGPT活用の一気通貫フロー】

ChatGPTを活用すると、『ブレスト→提案書→出願』がシームレスにつながる：

① **ブレスト**（ChatGPTで発想）



② **発明提案書作成**（視覚化・整理）



③ **先行技術調査**（AIを併用）



④ **明細書・クレーム作成**（AIとの対話で迅速化）

↓ **細かく作っていきます。一気には作らない。クレームは限定型からあとで拡張・抽象化していく。**

⑤ **出願・権利化**（中間処理でAIを併用）

ボールペンデモ画面の後半で、明細書作成の流れを体験します！

15:30～15:35 (5分) 1/2

📄 今後のセミナー登壇予定**知財業務の一気通貫**を学習したい方は、ぜひご受講ください。

📅 **今後の登壇予定 (抜粋)**

8月29日 (木) 株式会社情報機構 主催WEBセミナー
→知財の実務をがっつり話します。5 時間生配信！！

9月24日 (火) 一般社団法人 企業研究会 主催WEBセミナー
→知財の実務に加えて、CopilotとChatGPTとの一致点相違点、これからの特許事務所との付き合い方も話します。3 時間生配信！！

📌 割引制度もございますので、詳細・お申込みは、**弊所Webサイトにてご案内しています。メールでもお気軽にご連絡ください。**

毎晩深夜までChatGPTと向かい合い怒涛の夏のChatGPTセミナー祭りの資料を作り上げてきました。
クライアントも含めれば、おそらく、1年間で1,000名の方に、生成AIでの知財DXをお伝えしてきました。
10,11月は、趣味に時間を割き、12月は、年末の挨拶周りとお馬の過酷な冬のスタートです。
上記の2回が本当に年内最後になります。

知財業務の一気通貫ChatGPTでのDXを体験できるのも残りわずか！！

第1部のご受講・フォームへのご回答、 ありがとうございました！

『第1部： ChatGPTを活用した発明創出とアイデアブレストの基礎と実践
は以上です。』

- この後の第2部では、長野県内企業の知的財産部のご担当者様とリアルタイムで模擬ブレストを行い、
実際にChatGPTとアイデア創出の過程を体験いただきます。
- 第1部の内容を踏まえて、ぜひ積極的にご参加ください。



第2部 企業参加者を交えた模擬実践形式

～リアルタイムで発明創出ブレストを体験する～

2025年7月25日（金）15:50～16:35

講師：高山嘉成（たかやま特許商標事務所 代表弁理士）

パネラー：長野県内企業知財担当者

第2部：模擬ブレストの進め方

Step 1 | ChatGPTとの過去ブレスト結果を紹介（第一部）

- まずは、私（講師）とChatGPTで選定した【10の発明ブレストテーマ】を紹介します
→ こんな形でテーマを生み出せます

Step 2 | パネラーと“新しいテーマ”を出す

- 今度は、企業パネラーの方に協力いただき、
ChatGPTと一緒に“新しい①～③のテーマ”をブレストしてみます
- 仮想業種だけを設定して開始

Step 3 | 選ばれた1テーマを深掘りする

- ChatGPTに構造を出させながら、
発明提案書の形に整理 → クレーム → 明細書初稿までを一気に生成

この模擬の本質は...

「テーマが出せること＝発明の8割」

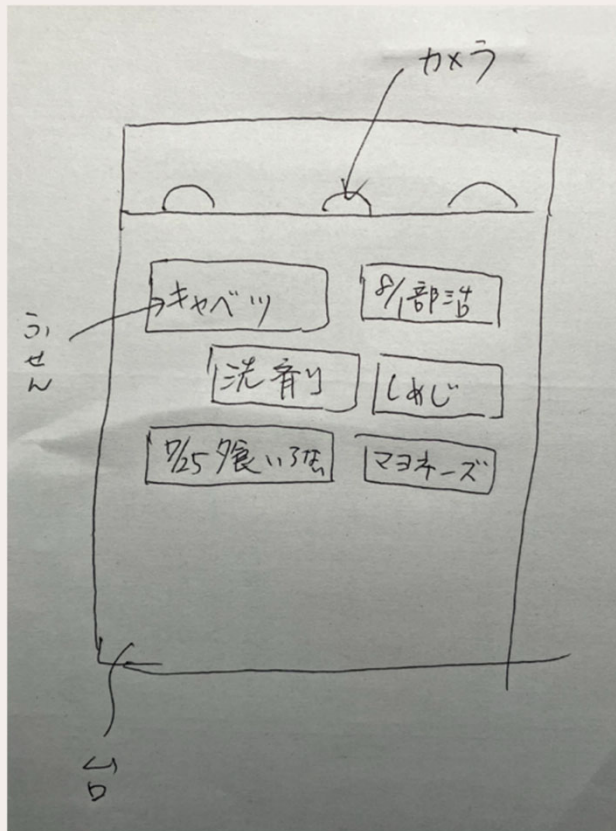
→ ChatGPTは、その先を“構造化”してくれるパートナーです。

No.	タイトル	発想軸
①	紙で書けて外でも確認できる買い物メモ	情報共有×家庭
②	両手フリーで使える自動歯磨き装置	時短×家事負担軽減
③	運転中に片手で開けられるボトルキャップ	モビリティ×安全
④	AIが動画からベスト笑顔を抽出	写真×AI選別
⑤	水跳ねしないシンクガード	家事×構造制御
⑥	家庭用ハンドドライヤー	業務→家庭 転換
⑦	家族別ドリンクディスペンサー	自販機発想の再定義
⑧	子ども向けくつひも自動結び補助	教育×補助機構
⑨	寝落ち予測でスマホOFF「おやすみスマート枕」	時間ずらし×健康管理
⑩	ラップ芯の“第二の人生”再利用構造	廃材活用×構造変形

パネラーが選択！ 仮想業種

No.	業種名	特徴・発明ブレストに向いている理由
1	食品製造業	包装・衛生・温度管理など多面的な課題がある
2	日用品メーカー	ラップ・洗剤・歯ブラシなどブレストが具体化しやすい
3	介護用品メーカー	補助具・清潔・安全設計など構造発明向き
4	ペット用品メーカー	犬・猫に対する「人間とは違う視点」で構成が分かれる
5	衣料品メーカー	着脱・収納・洗濯・リペアなど多彩な発明切り口
6	文房具メーカー	構造がコンパクト／機構アイデアが豊富に出せる
7	玩具メーカー	安全＋楽しさ＝複雑な構成が問われる分野
8	ホテル・宿泊施設	清掃・案内・サービス効率など現場課題が豊富
9	自動車内装部品メーカー	ユーザー体験と安全性が絡む発明が多い
10	スポーツ用品メーカー	装着性・軽量化・保護構造など構造設計向き
11	家具メーカー	組立て・収納・高さ調整などChatGPTに分解しやすい
12	DIY工具メーカー	機能性・可搬性・安全性の発明可能性が高い
13	アウトドア用品メーカー	軽量×多機能×コンパクトの矛盾解消が面白い
14	園芸用品メーカー	水やり・温度管理・収納性など家庭内課題が豊富
15	小型家電メーカー	乾燥・温風・調理・給水など要素が豊富に使える
16	通信機器メーカー	UI／通知制御／音声操作／電源制御が切り口になる
17	オフィス用品メーカー	省スペース・組立・収納・配線整理の定番テーマあり
18	飲料・自販機関連	飲み分け・温度差・投入回収・表示構造など応用しやすい
19	薬局・ドラッグストア向け製品	衛生・分包・誤飲防止・冷暗所保存の構造発明向き
20	通学・通園用品メーカー	子どもの成長・安全・片手操作などユースケース豊富

商品イメージ



日本語プロンプト（確認用）：

冷蔵庫にマグネットで取り付けられた**スマートふせん台**の製品イメージ。

台座には複数の手書きふせんが貼られており、ふせんには「キャベツ」「洗剤」「しょうゆ」「夕食いらない（7/25）」「部活（8/1）」などが書かれている。

台座の上部には**下向きに設置された小型カメラ**があり、貼られたふせん全体を真上から撮影する構造になっている。

カメラには丸いレンズとセンサーがあり、自動で撮影してスマホに画像を送信する。

本体は淡いベージュ色で、家庭の冷蔵庫に自然に馴染むデザイン。

ChatGPTが生成した商品画像



AdobeFireflyが生成した商品画像



A concept image of a smart sticky note board attached to a refrigerator with magnets. The board holds multiple handwritten sticky notes labeled "Cabbage," "Detergent," "Soy sauce," "No dinner (7/25)," and "Club (8/1)". At the top of the board, a small camera is installed facing downward, angled to capture all of the sticky notes posted below it. The camera includes a round lens and sensors and is designed to automatically take pictures and send them to a smartphone. The device is light beige in color and styled to blend naturally into a modern home kitchen environment.

CopilotChatが生成した商品画像



冷蔵庫にマグネットで取り付けられたスマートふせん台の製品イメージ。台座には複数の手書きふせんが貼られており、ふせんには「キャベツ」「洗剤」「しょうゆ」「夕食いらない（7/25）」「部活（8/1）」などが書かれている。台座の上部には下向きに設置された小型カメラがあり、貼られたふせん全体を真上から撮影する構造になっている。カメラには丸いレンズとセンサーがあり、自動で撮影してスマホに画像を送信する。本体は淡いベージュ色で、家庭の冷蔵庫に自然に馴染むデザイン。

Geminiが生成した商品画像



冷蔵庫にマグネットで取り付けられたスマートふせん台の製品イメージ。台座には複数の手書きふせんが貼られており、ふせんには「キャベツ」「洗剤」「しょうゆ」「夕食いらない（7/25）」「部活（8/1）」などが書かれている。台座の上部には下向きに設置された小型カメラがあり、貼られたふせん全体を真上から撮影する構造になっている。カメラには丸いレンズとセンサーがあり、自動で撮影してスマホに画像を送信する。本体は淡いベージュ色で、家庭の冷蔵庫に自然に馴染むデザイン。

第3部 質疑応答

ご遠慮なく何でもご質問ください。
セミナー後でもメールでも！

- 第2部の感想と、全体を通しての最終アンケートにご回答をよろしくお願いいたします。

- <https://forms.gle/qEMHYjjCCoHpvekd6>

2025年7月25日（金） 16:35～16:50

